

総合内科後期研修プログラム

<目的>

内科医がすべての内科系疾患を自立して診察できることを目的とする。2年間のあいだに3つの内科系診療科（第一内科、第二内科、呼吸器科）のすべてをローテーションし、内科系疾患の診療に必要な幅広い臨床能力と技能を修得します。本コースを選択することにより、日本内科学会認定内科医の受験資格が得られます。希望により3つの内科系診療科以外の診療科での研修も可能です。

<研修期間>

原則2年間

<研修目標>

総合内科医として、あらゆる内科系疾患に対応できる能力を身に付けることを目標とする。そのため、必要な知識と技能を習得し、積極的に学術研究発表を行うことを目標とする。

知識習得のために、日本内科学会の認定内科医研修カリキュラムに掲載された一般内科および内科各領域（消化器、循環器、内分泌・代謝、腎臓、呼吸器、血液、神経、アレルギー、膠原病、感染症）に必須の基本的知識を習得する。そのために、基本である自己学習の他に、指導医による直接指導、各科カンファランス、院内症例発表会、CPCなどが設定されている。

技能的には、基本手技（採血、血管確保、気道確保、検痰、検尿、胸部X線撮影、心臓および腹部超音波検査、上部消化器検査）を自分のみで実施できることと、基本的な検査結果を解釈できることを目標とする。

日本内科学会東北地方会での受け持ち症例の報告を積極的に行い、最終的に日本内科学会認定内科医の資格を取得することを目標とする。